

令和5年1月－3月期 板柳町景気動向調査

青森県内の景気動向（1月－3月期）

県内の景気は持ち直している。この間企業の業況感について、設備投資は引き続き前年比増加となっており、個人消費は食料品を中心に高水準で推移している。乗用車販売について、低水準だが持ち直しの傾向にある。しかし、消費者物価（生鮮食品除く）は前年を上回っている。

景況調査アンケート協力事業所

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
調査事業所数	6	9	12	18	45
有効事業所数	5	6	9	16	36

従業員規模	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	0	0	0	1	1
1～4人	3	3	9	13	28
5～10人	1	2	0	2	5
11～20人	1	1	0	0	2

過去3ヵ月（R4年10月～12月）と比較して、どうですか

Q1 売上額について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	1	1	1	3
2 横ばい	1	3	3	9	16
3 減少	4	2	5	6	17

Q2 今後3ヵ月の売上単価の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	2	2
2 横ばい	3	6	6	9	24
3 減少	2	0	3	5	10



やや減少の傾向が強く、今後について横ばいの傾向が続くと見通している。

Q3 仕入単価について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	5	4	8	10	27
2 横ばい	0	2	1	4	7
3 減少	0	0	0	2	2

Q4 今後3ヵ月の仕入単価の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	5	4	8	10	27
2 横ばい	0	1	1	4	6
3 減少	0	1	0	2	3



70%以上が増加しているとし、値上げに歯止めがかからない状況が続いている。

Q5 採算（収益）について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	1	1
2 横ばい	1	5	1	7	14
3 減少	4	1	8	8	21

Q6 今後3ヵ月の採算（収益）の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	0	0
2 横ばい	1	3	2	9	15
3 減少	4	3	7	7	21



50%以上が減少の傾向にあり、今後、減少または横ばいで推移すると見通している。

Q7 資金繰りについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 好転	0	1	0	0	1
2 横ばい	4	4	6	7	21
3 悪化	1	1	3	9	14

Q8 今後3ヵ月の資金繰りの見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 好転	0	1	0	0	1
2 横ばい	4	4	8	7	23
3 悪化	1	1	1	9	12



50%以上が横ばいとし、今後も同等に推移していくと見通している。

Q9 設備投資について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 投資した	1	0	1	0	2
2 投資しなかった	4	6	8	16	34

Q10 今後3ヵ月の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 投資したい	1	3	0	1	5
2 投資しない	4	3	9	15	31

▶ 前回と比較して設備投資した回答が減少したが、投資したいとの回答も引き続き見られた。

Q11 労働力について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	1	1
2 変わらない	5	5	9	13	32
3 減少	0	1	0	2	3

Q12 今後3ヵ月の労働力見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	0	0
2 横ばい	5	6	9	15	35
3 減少	0	0	0	1	1

▶ 80%以上が変わらないとの回答をしており、横ばいが続く見通している。

Q13 前期と比べた景況の現状判断

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 良くなっている	0	2	0	3	5
2 変わらない	3	4	6	8	21
3 悪くなっている	2	0	3	5	10

Q14 今後の景況の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 良くなる	0	0	0	3	3
2 変わらない	3	5	7	7	22
3 悪くなる	2	1	2	6	11

▶ 「変わらない」との回答が50%以上となり、今後も変わらない見通している。

Q15 最も最優先される経営課題（複数選択可）

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 需要の低迷	1	2	5	2	10
2 販売価格の低下	0	0	2	0	2
3 原材料の高騰	5	6	4	12	27
4 人件費の増加	0	1	0	1	2
5 取引条件の悪化	1	0	2	0	3
6 同業者との競争激化	0	2	3	1	6
7 人材確保難	2	1	1	1	5
8 経営者の高齢化	1	1	1	8	11
9 後継者難	2	1	0	5	8
10 その他	0	0	0	2	2



▶ 前期に続き「原材料の高騰」が多く、「経営者の高齢化」「需要の低迷」が続く。また資金繰りの悪化、コロナの影響次第で経営状況が変わることについて悩みを抱えているとの声も聞かれた。

板柳町の景気動向（1月－3月期）

▶ 前期に引き続き原材料の高騰、経営者の高齢化を経営課題としてあげる事業所が全般的に多く、値上げが続く状況が長期化している状況における資金繰り、事業承継への対応が求められる。また、景況について「良くなる」と回答したのがいずれも飲食業であったことから、飲食業の景況がやや好転しており、今後歓送迎会や春の行楽シーズンを迎える中で飲食業界が回復に向かっていくことが期待できると思われる。